

キャリア支援委員会からのお知らせ 女性医師紹介

2022年4月からばんだね病院に新しい女性医師が入职されました。フレッシュな顔ぶれがそろい、ますますばんだね病院が盛り上がっていくことが期待されます。キャリア支援委員会は女性医師のみならず医師のキャリア支援、医師が働きやすくするための院内環境整備・サポートを行っています。ばんだね病院をより働きやすい病院にするために奮闘しております。いろいろな勉強会の企画もしていきますので皆さんにもキャリア支援委員会の活動を知っていただき、どんどんご意見いただけますと幸いです。



左上から 小児科 助教 水谷、耳鼻咽喉科 助教 松本、放射線科 助教 渡邊
内分泌・代謝・糖尿病内科 助教 岡本、形成外科 助教 犬飼
形成外科 助手 小島、皮膚科 助手 湯浅

左下から 外科 講師 近藤、脳神経外科 教授 加藤、総合アレルギー科 教授 矢上

キャリア支援委員会 副委員長 千田麻友美



左から 研修医 田中、脳神経外科 教授 加藤、脳神経内科 講師 千田

ばんだねニュース

FUJITA HEALTH UNIVERSITY BANTANE HOSPITAL



VOL. 49

2022年
8月20日発行

あいさつ運動について

当院の2022年度患者サービス委員会では、エチケットリーダーを中心に毎月第2月曜日から金曜日の朝に、正面玄関・職員用入口2ヶ所の合計3ヶ所にてあいさつ運動を展開しています。職員同士はもちろん、患者さんに対しても笑顔であいさつしています。朝のあいさつは一日の始まりです。笑顔で元気よくあいさつをすることで、一日気持ちよく過ごせるものです。初めは大きな声を出すのがはずかしそうにしていた職員も、徐々に大きな声であいさつする姿が増えました。患者さんからも「いいね～あいさつされると気分がいいね」「朝から元気もらったよ」との声も聞かれています。今後は、いつでも、どこでもあいさつが飛び交うばんだね病院を目指して、みんなで一緒に素敵な病院にしたいと思います。



七夕の笹を飾りました!

例年、加藤庸子統括副院長（脳神経外科 教授）からの声掛けにより、七夕の笹を正面玄関や病棟に飾っています。今年も看護師の皆さんで笹を飾りました!

加藤統括副院長からのメッセージ

～七夕に向けて～

入院中の皆様の一日も早い回復、健康、幸せを祈念して看護部共々と飾り付けをしました
ばんだね病院の使命が皆様のもとに届きますように



ばんだね病院と一緒に働いてくれる方を募集しています!!

募集時期：随時募集

雇用形態：正社員

看護部

看護師・助産師/診療補助

詳細はこちら▼



看護師・助産師 診療補助

薬剤部

薬剤補助

詳細はこちら▼



事務部

事務員

詳細はこちら▼



電話でのお問い合わせは
右記連絡先までご連絡ください。

ばんだね病院人事課
TEL 052-323-5697・5696

匿名加工情報の作成及び第三者提供について

○匿名加工情報の作成について

当院が保有する患者様の個人情報について、当院は、特定の個人を識別すること及び個人情報を復元することができないよう適切な措置を講じたうえで匿名加工情報として作成いたします。

【匿名加工情報に含まれる個人に関する情報の項目】

・診療のために収集された診断画像

○匿名加工情報の第三者提供について

当院が作成または保有する匿名加工情報について、当該情報が匿名加工情報であることを明示したうえで、継続的に第三者に提供いたします。

【匿名加工情報に含まれる個人に関する情報の項目】

・左記「匿名加工情報の作成について」における「匿名加工情報に含まれる個人に関する情報の項目」と同一の項目

【提供の方法】

・紙媒体により当院内で配布および院外の医療施設へ郵送

・当院Websiteにて掲載

藤田医科大学ばんだね病院

FUJITA HEALTH UNIVERSITY BANTANE HOSPITAL

〒454-8509 名古屋市名川区尾頭橋3丁目6番10号

TEL 052-321-8171 FAX 052-322-4734 発行 広報委員会

QRコードで今すぐアクセス

ばんだね

検索



形成外科 について



形成外科とは

身体（主に頭蓋顎顔面）に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対して、様々な手法により機能的及び形態的に、より正常に美しくすることによってQuality of Lifeの改善に努めています。また、傷をきれいに治すスペシャリストです。

形成外科が扱う代表的な疾患

形成外科では先天性疾患（多合指症、耳介変形、副耳、母斑、あざなど）をはじめ、近年増えている眼瞼下垂症や、逆まつ毛手術、傷跡・ケロイドの修正などを行っています。さらに、顔面骨骨折や、乳房や皮膚の悪性腫瘍切除後の再建、床ずれ、糖尿病性潰瘍の治療など多岐に渡った治療を行います。



ばんだね病院の診療体制

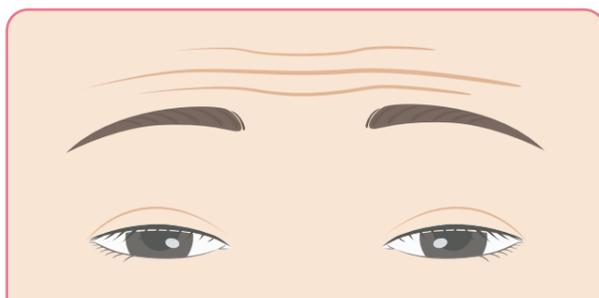
本年度より、形成外科は3名体制となりました。月曜日から土曜日まで毎日午前中外来診療を行っております。当院では地域医療に基づき、全ての疾患に対応可能な体制が整っています。さらに今年度より美容治療である自費治療にも力を入れています。保険治療では難しい部分を、自費治療と組み合わせることで、より良い状態に改善させることを目指しています。



眼瞼下垂症とは

眼瞼下垂症とは、上まぶたが開かず黒目にまぶたがかぶってしまう状態のことを言います。皮膚のたるみや、まぶたを持ち上げる筋肉などの衰えによっても起こります。コンタクトレンズ使用者が近年増加していることもあり、患者数は増加傾向です。これにより、物が見えにくくなり、眠そうな印象を与えます。また、眼瞼下垂症は頭痛や肩こりの原因とも言われており、まぶたを持ち上げようと額の筋肉（前頭筋）を使うため、眉の位置が高くなり額にしわが寄ります。これらの症状は手術により改善させることが可能です。まぶたが重く、頭痛や肩こりを自覚されている方は一度形成外科にご相談ください。

！ 眼瞼下垂の見た目の特徴



- ・まぶたが黒目にかぶさっている
- ・眠たそうに見られる
- ・眉毛が高い位置となる
- ・くぼみ目となる
- ・二重の幅が広がる

眼瞼下垂症の治療

眼瞼下垂症の手術は、先天性と加齢性変化によるものは保険適応にて治療が可能となります。生まれつき認められる場合を先天性眼瞼下垂といいます。生まれつきまぶたを持ち上げる筋肉の力が弱かったり、その筋肉を支配している神経の異常が原因です。片目の場合は目の開き方の左右差で気づかれやすいですが、両方の下垂が軽度の場合は気付かれにくい可能性もあります。多くの場合、物を見るときに、おでこの筋肉を使い眉毛を挙げて目を開けようとしたり、前を見たときに視野が制限されるため、顎を上げて物を見ようとする症状は加齢性でも先天性でも同じです。先天性眼瞼下垂により上まぶたが開かないと、目に光を十分に取り入れることができず視力の発達に影響をおよぼします。

！ 皮膚腫瘍

皮膚にできたできものは何でも皮膚腫瘍と言われます。ほくろをはじめ、粉瘤や母斑などは切除することが可能です。また、悪性の場合には切除後、植皮や再建手術を行うこともあります。

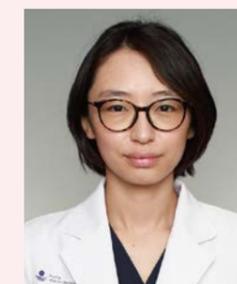
！ 先天性疾患

先天性疾患には様々なものがあり、副耳をはじめとした埋没耳、小耳症などの耳介変形、多合指症などの手足の疾患、胸部では漏斗胸、ポーランド症候群、副乳、陥没乳頭などがあり、全身にわたる様々な疾患があります。手術により改善が望めます。

スタッフの紹介



助教
犬飼 麻妃
【認定資格】
日本形成外科学会専門医
【専門分野】
一般形成外科、眼瞼
乳房、美容外科



助手
小島 瞳
【専門分野】
一般形成外科

講師
米田 敬
【認定資格等】
日本形成外科学会専門医
日本レーザー医学会専門医
【専門分野】
形成外科全般、レーザー治療

形成外科からのメッセージ

「わたしたちは患者さんのQOL改善に最善を尽くします!」